

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム課  
 担当名: 企画・支援担当  
 内線: 2280

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B24	スマート社会へ向けたAI実証事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上	
1 事業概要 スマート社会に向けて県民サービスの向上や業務の効率化、産業振興を図るための事業を実施するとともに、ヘルプデスクのAI導入実証を行う。  (1) AI活用推進事業 △1,380千円 データ活用支援業務、情報システム構築支援業務の契約差金発生に伴う減  (2) ヘルプデスクのAI実証事業 △10,931千円 問合せ自動応答システム(ヘルプデスクAI)の契約差金発生に伴う減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア AI活用推進事業 27,321千円 イ ヘルプデスクのAI実証事業 6,953千円 (ア) AI設計・開発 6,305千円 (イ) AIサービス運用 648千円 (2) 事業計画 ア 平成30年度: AI・データ活用に向けて、データ活用方法や事業化の検討を行う。 ・AI、IoT、ロボット導入推進 ・H30年度未来への提言の事業化支援、H31年度以降の事業化支援 ・データ活用検討 ・オープンデータ、ビッグデータの活用 ・庁内ワーキングの実施(テーマ:オープンデータ、業務改善、産業振興等) ・AI関連セミナーの実施 AI導入の先行事例としてAI実証 ・ヘルプデスク業務のAI導入のためFAQをAI化 ・AI学習機能の検証 イ 平成31年度: AIの分野横断導入 ・同分野へのAI導入横展開 ・他の分野も包含するAI導入の仕組みの検証 ・庁内の県民向け窓口としてAI応答システムを設置 (3) 事業効果 ア 庁内の様々な分野でAI・データを活用した事業化が進み、業務の効率化や県民サービスの向上、産業振興が図られる。 イ ヘルプデスクを利用する職員の負担が軽減する。 AI導入効果を検証し、業務の効率化や県民サービス向上のためのAI導入の促進が図られる。 (4) 補正予算の概要 ア データ活用支援業務、情報システム構築支援業務の契約差金発生による減。 イ 問合せ自動応答システム(ヘルプデスクAI)の契約差金発生による減。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額				財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△12,311							△12,311	34,274
現計額	46,585							46,585	